

平成30年度 大学の世界展開力強化事業 審査結果

大 学 名	東京大学	タイプ	A
事 業 名	日米の COIL 型教育を活用した先端ワールド・グローバル工学人材養成プログラム		
海 外 の 相 手 校	マサチューセッツ工科大学		

〔評価コメント〕

本事業計画は、東京大学の工学部及び大学院工学研究科の国際化に向けて、マサチューセッツ工科大学との学生交流と協働教育に関するこれまでの実績に加え、COIL 型教育を導入し高い水準での工学系グローバル人材を育成しようとする意欲的な取組であるとともに、その展開にあたっては、大学間交流の実績を十分活かした体制で実施する計画であり、事業の実現性も併せて高く評価できる。

工学部のプログラムでありながら、人文・社会科学系や語学・文化を学ぶ機会が取り入れられており、相手大学と共同して実施しているオンライン教育 M-Skype では、専門教育以外にも相手大学生が興味を示す「日本語教育」を COIL 型教育の新設科目として取り入れること等の工夫が見られる。学生の支援体制についても、派遣・受入に十分な実績があり、学生にグローバルマインドを付加し、更に留学に繋げていくことに期待が持てる。

一方で、COIL 型教育科目数や学生の派遣・受入に関する数値目標については、工学部及び大学院工学研究科全体への波及効果が十分に見込まれるよう、更なるプログラムの検討が望まれる。

最後に、今回本事業に選定されたことを受け、将来の我が国と相手国との関係を見据え、質保証を伴う国際教育連携の先導的モデルに中心となって取り組む拠点大学であるということの意義とその責任、期待の重さを認識し、事業内容の実現に向け真摯に取り組まれることを強く要請する。